



重雄 渡辺 議員

効果的な観光行政は

多くの住民が観光に関わることが大事では

質問

世界ジオパークの認定を生かすためにも、市民に分りやすい体系的な取り組みによる協働の力が必要と考えるが、

観光に関するビジョンやプランの策定、国県への要請と連携や地域ブランド化推進の必要性、準市民制度の導入などの取り組みについて伺う。

市長答弁

観光に関するビジョンや行動プランの必要性を十分理解



勢子 鈴木 議員

少子高齢化による財政面への影響は

質問

少子高齢社会と経済成長の見通しは

少子化により生産適齢人口が減少すれば、消費は低迷し、市場経済の縮小により税収も減収する。しかし、社

会福祉関係費の増加は避けられず将来的に財政面で大きな影響を与えるが、当市における少子高齢社会と経済成長の今後の見通しと対策を伺う。

市長答弁

全国的に少子高齢化は進み、また、経済成長も厳し

しているため、世界ジオパークを生かした交流人口拡大の取り組みを進めながら、観光全般に関する課題として検討を進める。

また、ジオパーク事業では、基盤整備環境が不十分なため、今後も引き続き国県に対し、ジオパーク事業への理解と事業への支援を要請する。

市民や事業者との協働の効果として、従来は協働の効果が見えにくいですが、現在では、市内の有志「うまいもん会」の「糸魚川ブラック焼そば」、糸魚川青年会議所の「南蛮工

い情勢が続くものと推測されるので、状況を踏まえ、長期財政見直しを毎年見直し、財政の健全化に努める。
また、少子化や定住人口の減少に歯止めをかけるため、若者の定住と子どもを産み育てやすい環境の整備を進めている。

市民会館の建て替え計画は

質問

新市建設計画にて市民会館の建て替え計画を約束してき

「ビ」などを実践的なモデル事業として参考にし、市民や事業者の協働意識の向上を図っていく。

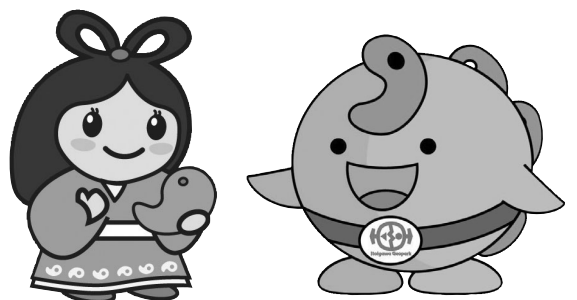
また、ブランド推進事業の取り組みとして、イメージづくりは大切なことと認識しているため、当面する世界ジオパークのまちをイメージづくりの基本とし、事業を進めていく。

なお、準市民制度の導入については、現段階では考えていないが、既出身者会など関係する団体の人々に協力を頂き、一層の支援の輪の拡大をお願いしたいと考えている。

だが、計画は進まず、部分的な修繕などで今日に至っているが、今後の計画の見直しについて伺う。
また、会館運営での諸課題をどのようにとらえているのか伺う。

教育長答弁

市民会館の建て替え計画は、総合計画中期プランにて、市民会館を耐震補強とリニューアルで整備することとしたものであり、23年度に基本構想と基本計画策定、26年度に改修工事を完了する計画である。



また、運営面の課題として、県内他市のホール事業も興行成績が振るわない状況であるが、従来の優れた観賞型公演と併せて、市民参加型公演など、市民との共同公演事業を推進する。

《その他質問項目》

・職員の長期休暇と男女共同参画の推進